

泉

第25号

昭和61年10月1日発行

発行所 東京都中野区本町 6-38-1
郵便番号 164
電話 (03) 381-0196
振替口座 東京9-188318

東京文化学園同窓会

発行人 白井スエノ
編集人 青木純子
印刷所 篠塚印刷株式会社
(非売品)

名誉学園長

森本武也先生のご逝去



名誉学園長・森本武也先生はかねて病氣療養中でしたが、去る三月二十日に逝去されました。先生は昭和三十九年から短大・医技・高校・中学・小学校・幼稚園の学長・校長・園長として学園の教育経営に尽力されました。昭和四十三年に脳血栓で倒れられ、しばらくの入院のあと自宅で療養のかたわら、校務にもあたられました。

その後、各校の校長・園長を退かれ、昭和五十九年に短大学長を現・佃学長に引継がれて学園を退職され治療に専念されました。

本年三月になって、学園の六校の卒業式が次々と体育館などで行われ、十九日に最後に行れる小学校の卒業式で六年生が巣立つのを待つかのように、二十日未明、心不全で七十四歳の生涯を閉じられました。

葬儀は三月二十三日、記録的な大雪の中、日本聖公会阿佐ヶ谷聖ペテロ教会(杉並区)で、矢沢靖司祭の司式、速水敏彦司祭の説教で行われました。悪天候のために交通がマヒ状態になる中で、学園や同窓会関係者も参列して、先生にお別れいたしました。

四月二十六日には、学園体育館

で追悼式が速水司祭の司式で行われ、七百人余の学園関係者が先生をお慰めいたしました。当日は、白井同窓会長も別項のように弔辞をお捧げしました。

先生は新体育館を建てることを長年の悲願とされていましたが、この体育館には生前には残念ながらお入りになることはありませんでした。



故森本武也先生追悼式

弔辞

同窓会長 白井スエノ

本日私ども御尊敬して止まなかつた学園長・故森本武也先生の追悼礼拝に当り、全卒業生を代表して慎んで追悼のことばを捧げます。

かねてから御病氣御療養中とは申せ、森本僑子先生初め御一家の誠にお行届いたお手厚い御看護をお受けになっておられ、私共も少しでもご快癒をと日々お祈り申し上げておりましたので、神の思召しとは申せ、御訃報に接して只々胸をつかれ残念に存じ悲しみに堪えないのでございます。

敗戦の中から復興することは、日本のすべてがそうであつたように、この学園もまた大変でございました。その中で創立者であられる御父君の厚吉先生を援けようと学園の教授となられ、厚吉先生亡き後、学長・校長・園長の大任を背負われた森本静子先生の学監として御活躍なされ、六三制への学制改革と共に幼稚園・小学校から中学・高校・短期大学は申すに及ばず、当時としては誠に先駆的な医学技術学校を併設され、大きな学園組織を体系づけられました。

併せて校地拡張・女子の学園にふさわしい新校舎の増築・軽井沢に高原寮の設置等、誠に周到な企画のもとに次々と実現して下さり、

私共卒業生は目を見張って母校の充実と発展を喜び感謝申し上げます。

伺いませば本学園のみならず日本の全短期大学の発展のため協会のお仕事にもつくされておられたとのこと、私共同窓生は「こんどは何をなさるかしら」とそれはそれは羨しみにいたしておりました。

十八年前、御病氣でお倒れになったと伺いましてからは偏に御回復を祈り、一時は杖をつかれての御出勤なさるまでに快方にむかわれたことに安堵し、お喜び申しておりました。今ここで、こうした先生のお写真にぬかずき、戦後の学園発展に見る先生の御業績を思うと、本日のお別れは本当に残念でなりません。

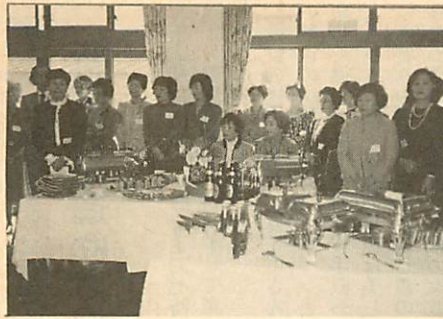
大きな眼をキラッと輝やかせながらひきしまった表情で所信をお述べになる時のお姿はどれ程たのもしく拝見いたしましたことか、そして又、その大きな御身体に似あわず恥しうに女学生と接しておられたときのお若い頃の先生、音楽の先生方とトリオでチェロをひいて下さった先生、朝礼で欧米の家庭生活のお話をされた先生、小学生や園児にむかわれる時の柔和なお顔、どれもこれもなつかしく思い出されます。

「瑠の会」を終えて

春まだ浅い三月二日、桃園寮で

学園生活を共にした寮生達の集い「瑠の会」が、数十年ぶりに催されました。学園の発展のためといえ三月末には桃園寮がとりこわされることを知らされ、何とかその前に、かつて起居を共にし青春時代をすごした桃園寮で思い出を語り合い名残りを借してみたいものと、学園、同窓会、先生方のお力をお借りして、やっと実現の運びとなりました。

今なつかしく思い出されるのは、バラのアーチや緑の芝生、しゃれた洋館の森本記念館のたたずまい等です。静子先生のきびしい躰のもとですごした家族的な寮生活は、生涯忘れられない日々であった様に



に思われます。

静子先生御存命中の昭和四十一年卒業十五期まで寮生も七百余名を超える多数となりましたので、この度は、齢四十歳以上の皆様に御案内申し上げます。

当日はお忙しい中、理事長先生をはじめなつかしい先生方十九名、会員百余名の御出席をいただき、会場は歓声と笑顔に満ち溢れておりました。遠路はるばる駆けつけて下さいました方も、様変わりした中野周辺に驚かれながら、若きよき時代を思い出されたことと存じます。

いろいろ皆様の力をお借りして、名簿も完全ではございませんが出来上りつつございます。御出席の方々には近々お送りいたしますが、数十年ぶりに顔を合わせ旧交を温められました方々が、更に輪を広げていただければと願っております。名簿を御希望の方は同窓会本部に御一報下さいませ。桃園寮はなくなりましたが、二年間の寮生活で培われ学んだものを若き日の思い出と一語に大切にしていきたいと思っております。

会員の皆様の交流が続けばなどと考えております。今回の瑠の会に際し、数名の方には最後まで特にお世話になりました。より感謝申し上げます。

また次の機会まで会員の皆様の御活躍と御健康をお祈り申し上げます。
世話人 岩崎阿嬭 (短大六期)

森本武也先生の思い出

高校29期伊東一恵 (旧姓 吉羽)

武也先生の思い出を書くようにとの連絡をいただき、少し躊躇いついてきた頭で遠い日の記憶をたどってみると、武也先生に社会学科の授業を受けたのは高三の時でした。が、それ以前に言葉をかけていただくようになったのは、たしか学園祭(当時は芸術の会)がきっかけだったと思います。入学から卒業までの六年間演劇部の活動をしていたので、ある時、追い込み練習で下校が夜になり、同じ方向へ帰る友人と共に、武也先生に送っていただいた事がありました。

このような先生とのふれ合いをきっかけに、「武也先生の教科は絶対に頑張らなければ！」と勉強し、社会学科だけはいつも良い成績だったと思います。そして高校生活最後の学園祭での演劇について、先生が学園新聞で褒めてくださったその切り抜きを写真と共にアルバムに貼り、思い出の一コマとして保存してあります。

卒業後ある会社に就職し、実社会へ踏み出した私にとって、何もかも目新しく毎日が楽しくてルン

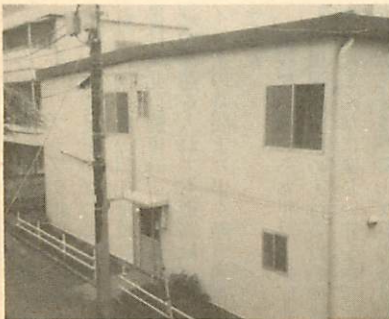
森本記念館完成

同窓会館に使用

懸案の同窓会館がこのほど学園内に設けられました。かねて同窓会から学園に会館の設置をお願いしてまいりましたが、学園北東の新校舎が「森本記念館」と命名され、その一部を同窓会館として使用することになったのです。

会館には17㎡の事務室、67㎡と35㎡の会議室二室等があり、同窓会員の利用が待たれています。また、大会議室は昼間は学園の会議等にも使用する一方、従来どおり学園のカフェテリア等も同窓会の夜間の会合に使用できます。

学園の建築の都合で、来年三月まで大小会議室は学園に仮教室等に使われます。



森本記念館

専門部会・高校部会合同企画

新渡戸稲造ゆかりの地を尋ねて

専門九年卒 加賀美穂子

新宿朝日生命ビル前を定刻七時三十分参加者四十一名を乗せて東北へと出発しました。

役員挨拶のあと、ガイドさんの景色の説明、リクレーションと楽しく過ごしているうち、岩手県へ入りました。車外の景色は美しいみどりの田園、白くいぶし銀の様なつやのある漆瓦の屋根の家並み、まもなく温泉郷に入るところ、今までうつろだった眼、そしてぼんやりしていた頭もすっきり目覚め、温泉宿へと吸い込まれるように各自部屋に落ち着きました。温泉につかり旅のつかれを洗い流し、大広間では地元同窓生を迎えてたのしい夜を過ごしました。

光景で、この草原はつくられた芸術を必要としないようで、夢が一杯に広がって行けたのしい草原でした。

青森の物産資料館を後に、バスは十和田市の新渡戸記念館へと走り、まず記念館前で墓参を済ませ、記念館に入り、三本木原開拓の恩人新渡戸傳翁の功績について説明を受け、また傳翁の孫にあたる新渡戸稲造先生の生涯学究の徒であり、国際親善に大きな足跡を残した偉業と人となりを知ることができ、本当によい経験でした。

八月も下旬夏の行楽も終り、静かになった二十七日二十九日専門部会と高校部会の合同の「新渡戸稲造初代校長ゆかりの地を尋ねて」に参加させて頂き、とても楽しい三日間でした。

十和田の旅

高28年卒 大山佐栄子

朝七時半から途中休憩を入れて十時間のバスの旅。永いこと座っていて着く時には腰が上る心配でしたが、そんなこともなく、皆元気に一泊目の湯瀬温泉に到着。

ひと風呂浴びて夕食の宴。ご馳走もさることながら、都会では食べられないとんぶり(常草の実)を初めて賞味しました。食事も終り、しりとり歌遊びに(喜品つきで)興じてこれも又楽しいひとときでした。

翌日は発荷峠を通り、夏の観光客もいなくなった静かな十和田湖を車窓から見ながら、青森支部長の木村先生のお計らいで花鳥渓谷に寄り、後は奥入瀬川に沿い十和田市へ。

これからの今回の旅行の目的の新渡戸記念館へと。お出迎え下さったのは新渡戸稲造先生の大甥にあたる館長さんの新渡戸憲之さんでした。どことなく稲造先生に似ておられた様に思われました。館内の展示品をこまかく御説明下さいまして、新渡戸家の先祖からの行跡に、改めて頭の下る思いが致しました。また、現在使用されている五千円札の肖像に新渡戸稲造博士が選ばれた写真などが収められていて、記念館でなくては見られないものをみて記念館を後にしました。

最後はいろいろお世話下さいました黒沢先生初め実行委員の皆様、本当にこんなに楽しい旅をさせて頂いたことを感謝して居ります。本当に有難うございました。

二日目は美しい透明な瑠璃色の湖水、それはロマンのある十和田湖でした。奥入瀬溪流は木立の梢の木洩れ陽に白い光を浴びて葉がくれに見る渓谷は不思議なムードをかもし出します。溪流は美しく澄み、秋の気配を感じ、流れはやさしくささやきます。青森支部長の木村正枝先生の御案内で、十和田湖畔にひろがる十万亩の草原には、キャンプ場、宿泊施設、バラ園あり、果樹園のリングは青く枝にかじりついてなっています。くるみは青く枝に、はじめて見る

三日月の朝は、まず新渡戸先生の生誕地に歩いて行きました。そこには私の卒業アルバムの写真である。全身の像が椅子に腰かけ肘をついておられ、「三日精神」のHogan(即ち心を重んじた先生のお顔を拝見でき、この旅に参加した意義をしっかりと噛みしめ感無量で

した。足元には秋の七草の萩がヒシクの花を沢山つけやさしく先生を見守っているようでした。樹令三〇〇年の堂々とした石割桜をバスの窓から眺めつつ盛岡市を後にして一路東京へ向いました。こうして三日間の旅を何事もなく楽しく過ごすことができたのは実行委員の方達の綿密なる計画と初め

て参加した友に対しても一つも不安を与えず身内同志というのでしようか、何のへだたりもなくほのぼのとしたものを感じつつ旅の出来たことは東京文化学園の校風なのでしよう。本当に有難うございました。参加された皆様も感謝され家路についたことでしょう。

翌二十九日、もう帰る日が来てしまったのかとちょっとつまらない朝です。宿から十五分程歩いたところに新渡戸稲造先生の御生誕地があり、ブラブラ北上川に沿ってみんなで足を伸ばしました。これで今回の旅の目的は終りです。後は東北自動車道を一路東京へと途中休憩を入れても道路はスイスイ予定の時間より早く無事到着しました。

後にはいろいろお世話下さいました黒沢先生初め実行委員の皆様、本当にこんなに楽しい旅をさせて頂いたことを感謝して居ります。本当に有難うございました。

後にはいろいろお世話下さいました黒沢先生初め実行委員の皆様、本当にこんなに楽しい旅をさせて頂いたことを感謝して居ります。本当に有難うございました。

後にはいろいろお世話下さいました黒沢先生初め実行委員の皆様、本当にこんなに楽しい旅をさせて頂いたことを感謝して居ります。本当に有難うございました。

十和田市「新渡戸記念館」前。新渡戸館長を囲んで。後中央は新渡戸稲造先生像、左後方は「新渡戸記念館」。



オーストラリア旅行の思い出

伊藤 美智子

三月二十五日から一週間、私達一行二十一名は雪の日本を飛びたち、気温三十度を超える初秋のオーストラリアに行って参りました。メルボルン空港を出て初めて見たオーストラリアは「何と広い」という印象です。それもそのはず、面積は日本の二十一倍とか。バスは美しい緑の中を走り、やがてビルの立ち並ぶ市内へ、「アッ都電」と思わず言いたくなるような市内電車、メルボルンではお年寄のためにこれを廃止しなかったと聞き、ゆったりと走る電車が人の心の優しさを感ずりました。

この旅行でのメインは何といってもハレー彗星の観測です。皆、旅の疲れにもめげずよくガンバリました。何しろ午前三時四十五分集合というのが二日間も続いたのですから。

しかし、その甲斐あって、全員が卵型にポーとした光を放つハレー彗星をその目に納めることが出



来たのです。この旅行でのもう一つの楽しみは、数々の可愛らしい動物達との出会いです。先ずフィリップ島のペンギン・パレードを見に行きました。メルボルン市を出て約四十分、途中コアラ保護地区で野生のコアラの見学をしました。ユーカリの林の中を歩くと「いました!」。高い木の上にゆったりと眠っているコアラ、体全体からかもしだす雰囲気写真で見るとよりズーと愛嬌があり、コアラの人気の理由が解ったような気がしました。

夕食をすませ日も暮れると、いよいよ目的のペンギン・パレードです。バスで借りた毛布に体を包み海岸へと急ぎます。多い季節には何百羽という群れが一度に海から上がってくるそうですが、今の時期は少く、それでも十羽、二十羽と連れだって私達の目の前を歩く姿の可愛いこと。世界一小さいというこのフェアリーペンギンは体長三十センチ、体重一キロ、その小さな体で懸命に我が子の待つ巣へと急ぐのです。

三日間過ぎたメルボルンに別れを告げ、シドニーでの楽しみはコアラを抱くことの出来るワイルド・ライフ・パークです。生れた時から人間に育てられたコアラで、一

人ひとり係の人から抱かせてもらい大満足。ここではカンガルーをはじめ、オーストラリアならではの数々の動物を見ることが出来ました。

豊かな自然に恵まれ、可愛い動物達のいるオーストラリアですが、

浅間高原寮高女部会

竹ノ谷 智子

八月二十四日晴天、カラフルなバスの並んでいる新宿の集合場所

に戸惑いながら乗車、皆様明るい元気な顔を見せて下さいました。今年森本備子先生も同行され、白井会長初め四十七名、七時四十分一路浅間高原へと出発しました。高女の部会でしたが、湊先生の御尽力で麹町学園の方達にも御参加いただきました。

日曜日の出発ですので、車は渋滞でノロノロ。昨年の日航機事故の藤岡付近を通過、思い出しても胸が痛みます。途中、高崎観音様にお参りし、中を拝観致しました。白衣の大観音様は四十余年高崎市



宿舎付近で起きた警察本部前の自動車爆発事件、ペンギンをバイクでひいた青年の話等、色々な問題も抱えているようです。日本語熱も盛んだというこの国をもっと知りたいたいと思いながら帰国の途につきました。

民を美しいお姿でお守りしているということ。高崎市はダルのマ市と同じく市のシンボルにしてみると、茶店のおばさんが話してくれました。一時近くなり昼食をとりました。皆さんはいつもの釜めしと違っているので好評でした。乗り疲れも感じられた五時近く

浅間高原寮に着き、鷺見先生と助手の皆さんに笑顔で迎えられるました。手際よく部屋を割当てられ、静荘へ。外に出るとさわやかな風が顔をなで、疲れも飛んだ感じがしました。高女の方達はおしゃべりを始め、若い方達はテニスコートへと散って行きました。

六時三十分、中川先生もお見えになり夕食。備子先生はカゴ一杯にスモモを取ってきて食卓に飾って下さいました。箸の運びも楽しく、この食事ではんとうに来てよかったと思えました。欠席の皆さんにこの喜びを味わっていただきたいと思えました。

お部屋に戻ってからもお話しが

はずんでいよう、夜おそくまで電気がついて、笑い声が虫の音と共に聞えてまいりました。

翌朝、私は私事で「あさま一号」で帰りましたが、早朝にもかかわらず朝食の支度をして下さいました鷺見先生と助手の皆さんに感謝いたします。

本隊のほうは、朝から栄養満点の御馳走。九時すぎにお世話になった方達に手を振りながらお別れして、バスで鬼押出しへまいるりした。流れ出した落岩の下に大勢の方が埋まっていて、それをおまつりした神社もありました。それから、高原の道を揺られながら浅間牧場に行き、新鮮なミルク等をいただき、さわやかなひと時をすごしました。

又、山路を走って旧軽井沢に着きました。特産のジャムや、若い方はTシャツ等のお買物。バスが見付からなくて少し遅れた方がいらしたけれど、帰りのバスは楽しくて……全員で「四季の歌」、「学生時代」、「校歌」等を合唱したり、白秋の「千曲川」、「くちなしの花」、「夫婦酒」等得意な歌を聞かせていただきました。

皆様大喜びで「来年も必ず……」と約束してお別れしました。お世話下さいました方達、心からお礼申し上げます。

来年は一人でも多くの方達が参加されますよう、心から願っております。

“VERITAS VOS LIBERABIT”

「真理は汝等に自由を与う」(新約聖書ヨハネ伝8章)

沿革

- 昭和2年 女子文化高等学院を東京市本郷区元町(現文京区本郷二丁目)に創立する。役員は理事長に法学博士森本厚吉、理事・法学博士吉野作造、理事・医学博士橋本寛敏、学院長には森本静子が就任する。
- 昭和3年 専門学校令により女子経済専門学校と改称する。初代校長に新渡戸稲造、理事長兼副校長に森本厚吉が就任する。
- 昭和6年 現在地所在の成美高等女子学校を引継ぎ、附属高等女学校と改称し、新渡戸校長が兼任する。
- 昭和8年 新渡戸稲造校長逝去により、副校長森本厚吉二代校長に就任する。
- 昭和9年 東京都中野区の現在地に移転する。
- 昭和18年 地方学生のために東京都中野区桃園(現中野区中野3丁目)に学生寮を開設、桃園寮と命名する。
- 昭和19年 東京女子経済専門学校と改称し、経済科・保健科・育児科を設置する。
- 昭和21年 英文科を設置する。附属幼稚園を開設する。
- 昭和22年 学制改革により、附属高女は東京経専中学校および同高等学校に分かれ、校長に森本厚吉が就任する。
- 昭和23年 東京経専小学校を開設し、校長に森本厚吉が就任する。
- 昭和25年 森本厚吉校長が逝去したため、森本静子が校長・園長に就任し、橋本寛敏が理事長に就任する。
東京文化短期大学(家政科)を設置し、学長に森本静子が就任する。東京経専高等学校・同中学校・同小学校・同幼稚園を東京文化高等学校・同中学校・同小学校・同幼稚園と改称する。児童研究所を新たに設置する。
- 昭和26年 学校法人東京文化学園を設立、理事長に橋本寛敏が就任する。従来の専門学校は発展的に解消する。
- 昭和27年 短期大学内に医学技術研究室を開設する。
- 昭和30年 東京文化医学技術学校を開設する。医学技術研究室は発展的に解消する。
- 昭和39年 森本武也が学長に就任し、森本静子は学園長に就任する。浅間高原寮を長野県御代田町に開設する。
- 昭和46年 任期満了のため橋本寛敏理事長が辞任し、大浜英子理事が理事長に就任する。医学博士松木光が副学長に就任する。
- 昭和47年 医学技術学校校長に医学博士守屋博が就任する。
- 昭和49年 幼稚園長・小学校長に鈴木光雄が、中学校長・高等学校長に土居孝輔が就任。理事長に大久保安威理事が就任する。
- 昭和51年 50周年記念事業の一環として杉並区和田1丁目に約千坪の校地を購入する。
東京文化医学技術専門学校臨床検査学科と改称。
- 昭和52年 創立50周年記念式典を挙行。東京文化学園五十年史刊行
- 昭和53年 幼稚園長・小学校長鈴木光雄の逝去により、幼稚園長に森本光生が就任し、小学校長に永山義夫が就任する。
- 昭和54年 幼稚園・小学校新校舎が、杉並区和田1丁目に竣工し、二期から授業開始。
- 昭和56年 医学技術専門学校長に福岡良男医学博士が就任2,4・7号館とこわし、跡地に体育館建築。東グラウンド整備。創立50周年記念事業を完遂。9月より使用。
- 昭和57年 小学校長に橋本正礼が就任する。
- 昭和59年 短期大学学長・学務理事、森本武也が退任し、名誉学園長、学園顧問に就任する。短期大学学長・理事に佃正史理学博士が就任、短期大学副学長、松木光が任期満了により退任。幼稚園長に小学校長、橋本正礼が就任(兼務)
- 昭和61年 桃園寮閉鎖。桃園校舎(仮称)新築着工、61年2月完成、八号館をとりこわし、二号館を増築着工、61年2月完成予定。森本武也名誉学園長・学園顧問逝去(3月20日)



創立者
森本厚吉先生



初代校長
新渡戸稲造先生

あなたの良き後輩としてふさわしい

学生・生徒・児童・園児の

ご紹介を!

卒業生の皆さんへ

昭和二年に女子文化高等学院として創立した東京文化学園の同窓会は、全国に支部29か所、同窓会員数一万七千人余となりました。創立者森本厚吉先生、初代校長新渡戸稲造先生の建学の3日精神を実践し、各方面で社会に貢献されている卒業生の活躍は、後進の者の誇りと、大きな励ましとなっています。

また、卒業生のお子さんやお孫さん方が母校に入学され、伝統ある校風と、新時代に即した教育を受ける姿を拝見することは、学園にとって力強いことで、皆様の信頼にこたえるよう教職員一同努力しています。

創立六十周年記念事業として、建学の精神を生かしたビジネスアカデミーを設立すること、桃園校舎(仮称)新築と二号館の増築を行うこと、森本記念館を新築することなどを計画し、順調に実施しています。

今年度中に工事を終らせ、来年度からは新しい環境で教育活動を展開することになります。

東京文化学園

案内請求券 (同窓会)

この請求券を切りとって同封した場合、学校案内は無料になります。必要とされる学校名に○印をおつけ下さい。

短大・医技・ビジネス・高校・中学校・小学校・幼稚園

創立六十周年記念事業

専門学校 (開設準備中)

東京文化学園

ビジネスアカデミー

校長(予定) 福岡良男
学園創立六十周年記念事業として、現在の六十の学校の他に、建学の精神をもとに、新時代に対応する女子教育のための「ビジネスアカデミー」を新しく設立すること、準備を始めています。

設立趣旨

初代校長新渡戸稲造博士、初代理事長森本厚吉博士の学園設立の精神である、女子のもって生まれた才能を開発し新しい社会に適合する、国際性豊かな二十一世紀に向けて教養豊かな、知性と教育を身につけて、愛情のある人間性に満ちた格調の高いビジネスウーマン、常識にあふれた、美しい心の女性を育てることを目的とします。

新設校の概要

この新しいビジネスアカデミーでは、新渡戸、森本両先生が理想とし現在に受けつがれている、「女子経済観念の開発と文化的生活の育成」をもとに、教育の上に実現したいと思いついています。大きくわけて、英語を中心とし

たコース、経済教養を中心とした会計コースのふたつを置きます。英語のコースについては、日本では始めてのケースとして、「英国政府海外文化活動機関」である「ブリティッシュ・カウンスル」と提携して、英語の授業を十五人以下の小人数クラスで行い全世界に通用するケンブリッジの英語検定合格を目標にしています。

会計コースについては、簿記(日本商工会議所)検定一級合格を目ざし、優秀な教授陣を迎え特訓の積み重ねを行っています。両コースに共通して、豊かな教養を身につける教養特講を各界の名士を招き行います。

カリキュラム

一週五日制、一日六時間が必修科目で他の専門学校ではあまり例のない時間割としました。年間を四期にわけ、前期に二期後期に二期とし、十六週間をひとつの授業の単位にしています。

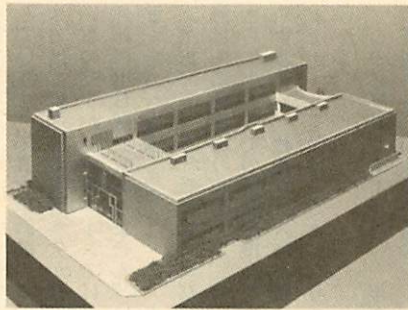
教養科目

本校の設立の精神である、「女子の経済観念の開発と、文化生活の普及」のため、専門学校としては、他に例を見ない、教養科目に力を入れ、全体の約三分の一の授

業時数をこれにあてています。現代社会に欠くことのできない「国際関係論」「人間関係論」新しいビジネス社会で通用するための「コミュニケーション論」「社会心理学」そして「秘書実務」「ビジネスマナー」各界の名士による「教養特講」などがあります。

専門科目

会計コース
会計事務に必要な「簿記」を、初歩の原理から、週十時間以上の学習により、日本商工会議所検定一級又は二級を卒業時までに取り得ることを目標に特訓します。



新校舎はこのようになります

英語については、週九時間を、ブリティッシュ・カウンスルの講師により「Cambridge First Certificate in English」の取得を目標にします。

英語コース

週十二時間以上のブリティッシュ・カウンスル講師による英語の授業と、週九時間の簿記の講義による専門的な、英語の教養と併せて経済の教養も身につきます。検定は会計コースと同じです。英語の授業は、十五人以下の小人数のクラスで、きめ細い指導が、各種の器材を使用して行われます。

実技科目

ビジネスに携わるために欠くことのできない、「ワープロ」「パソコン」については、週2時間程度を必修とし、英文タイプ、ペン習字もとり入れていきます。

選択科目

これの他に、英文速記、フランス語、華道、茶道、手芸、珠算などを習得できるよう計画中です。

専門学校について

近年、女子の大学・短大への入学生志願者が急増し、反面、就職について、男女雇用機会均等法が施行され、差をつけることができなくなりました。ところが社会では、いまだに管理職に女子が登用されると、新聞記事になるといふ現象が見られます。

これは、社会の情勢にも問題はありますが、女子の側にも何かあ

るのではないかと思います。「残業は都合が悪い」とか「出張はいやだ」とかという声も聞こえてきます。自分で自分の首をしめていくことはありませんか。社会が受け入れるというなら、男と同じ土俵で競争して見ませんか、そのために、男と同じ「能力」「知識」「技術」を身につけて、現実の社会で活躍してみてもどうでしょうか。専門学校では、このように、男女の格差を払い世にでて役に立つ人材を育成しようとしています。

大学・短大で学問を習い、知性を磨き、卒業します。しかし学校で習得した、経済学、法学を実社会でどれほど直接活用し、いかしているのでしょうか？

専門学校で得る知識・技能は、簿記検定一級であり、英語検定一級です。これは即日社会にでてその会社で生きて使えます。高校の先生方にお願ひしたアンケートでも、専門学校は、短大と異なり、志願者の適性によりその生徒に見合った学校を選び、即戦力となる人材の育成に期待していると答えておられました。

専門学校東京文化学園ビジネスアカデミーでは、こうした社会的要求にもとづいた、新しいタイプの学校を目指しています。

同窓生の皆様方のご支援により新渡戸・森本両先生の築かれた土台を今の世にあつた形にして、育ててゆきたいと思ひます。

栄養士養成のカリキュラム変更と必修ゼミの登場—短大近況

沢野 勉

昭和六十七年をピークとして、十八歳人口は減少していくことになりま。多くの大学・短大・専門学校では、この人口の推移を考慮して、それぞれに特徴をどのように出していくかを検討しています。競争社会にあって、大げさに

いえば、どう生き残っていくか、その方策が問われている。これからの時代はさしかかっているといってもよいでしょう。現に、地方の短期大学では、すでに入学生が減少が恒常化している傾向がづづいています。とくに家政科で、その傾向はいちぢるし

いようです。新設の短期大学や、学科の増設で家政科の設置がないのも、この風潮の表れともいえま。幸い、本学では数年来、受験生は増加の一途をたどっています。さらに、受験生の増加に見合っ

て、高校時代の成績も以前よりも優れている者が増えています。よい入学生を集め、よい環境でその素質を伸ばしていくこと、時代は変ってきたといえ、古くからの伝統を、この時代なりに発展させて教育に活かしていくこと、

これがわたしたちの眼目とすると

このころです。本年度から来年度にかけて、カリキュラムの改正も一部行われま

す。そのいくつかをご紹介します。昨年六月に、栄養士法の改正が行われました。これまで栄養士になるためには、養成施設(学校)を卒業するか、高校を卒業して後

養学、運動生理学、解剖生理学などという科目が置かれることになりま。食物栄養コースと教養教職コースとがある本学では、それぞれに

実践実習やゼミナールなどを重視していま。栄養士や教職のコースでは、現場での実習が欠かせない

この必修ゼミナールは、一年次の後期から二年次の前期に

います。これらの設備が、このゼミナールにも大いに活用されていくことが期待されま

す。短期大学では、学園祭が終ると次には学友会の役員

の交流と資質の向上を目的として、毎年、リーダーシップを



(短期大学教務部長)

学生募集要項

家政学科

■食物・栄養コース

(栄養士免許取得)

■教養・教職コース

(中学2級家庭・保健科

教員免許取得)

お問い合わせ

短大教務課 (381)0196 EX33

出願方法	願書受付期間	試験日	合格発表	試験科目および必要書類
推薦入学	第1期 11月17日(月)～ 12月6日(土) まで必着	面接・作文 を課す場合 もある (随時)	結果は随時 個人に郵送	入学志願書・調査書・健康診断書 推薦書推薦出願を希望する者のみ) 2期では推薦書がなくても受付ける
	第2期 1月26日(月)～ 2月9日(月) まで必着			
試験入学	2月20日(金)～3月2日(月) までに必着	3月6日(火) 午前8時 40分集合 午前9時 試験開始	3月7日(水) 本学掲示	●食物・栄養コース…国語(国語I・II) 英語(英語I・II)、理科(理科I・生物 ・化学より選択)、面接 ●教養・教職コース…国語(国語I・II) 英語(英語I・II)、理科(理科I・生物・ 化学)または社会(日本史)より選択、面接

近代医療で最も重大な 役割をもつ臨床検査技師

校長 福岡良男

医学が現在のように発達して
なかつた時代には医師が一人で診
察、検査、治療を行ってしまし
た。しかし、医学が急速に進歩した
現在では、医師が一人ですべてを
行うことが困難となり、看護婦、薬
劑師、レントゲン技師、臨床検査
技師という専門職が生まれ、それ
ぞれが分担して医療チームを編成
し、医療に貢献しています。

医療のうちで患者さんのいろい
ろの検査に従事するのが臨床検査
技師です。この検査の結果によっ
て医師は病気の診断、治療方針の
決定、治療効果の判定、患者さん
の病気の将来の予測を行います。
このように臨床検査技師は医療の
中で最も重要な人の命を左右する
仕事をしているわけです。

臨床検査には検体検査、生理機
能検査、病理検査、輸血検査があ
ります。検体検査とは患者さんか
ら採取した血液、尿、便、喀痰、
体液について行う検査であって、
化学的成分を測定する化学検査、
血液の細胞形態と凝固機能を検査
する血液学的検査、免疫機能や異
常タンパク、がん物質を免疫学的
に検査する免疫学的検査、感染症
の病原である微生物や寄生虫を検
査する微生物学的検査などがあり
ます。

生理学的検査とは患者さんが発
する電気的、物理的情報をキャッ
チし、それを解析して診断を下す
検査であり、心電図検査、ベクト
ル心電図検査、脳波検査、筋電図
検査、脈波検査、呼吸機能検査、
聴力・平衡感覚検査などがありま
す。

病理検査は手術や解剖で抽出し
た組織の病変、喀痰や分泌物中の
がん細胞の有無などを顕微鏡を用
いて検査する検査であります。
輸血検査は輸血による感染防止、
輸血による免疫の予防、輸血副作
用の防止など安全な輸血をするた
めの検査をする検査です。
これらの検査は大部分オートメ
ーションによる分析、コンピュー
ターによる検査結果の解析が行わ
れています。臨床検査技師の活躍
の場は病院の臨床検査室のみなら
ず、医師会や民間の検査センター、大学の
研究室、研究所、医療器械メーカーや
製薬会社の研究室や学術課などま
さまざまの需要が高まっており、
さらに増大する傾向があります。
臨床検査技師としてどのような
人間像が望まれているのでしょうか。
臨床検査技師として最も必要
なものは医師や看護婦と同様に常
に病める者に奉仕するというヒュー
マニティーであります。冷静、
沉着で協調性と研究心に富み、仕
事に対してファイトのある人が望
まれています。臨床検査技師教育
を進めるための基礎学問として化
学、物理、生物が必要であります
ので、理科系の教科をすきな人が
望まれます。

本校は医学界が望むような人間
的に優れ、しかも高度の知識と技
術を身につけた臨床検査技師を養
成し、社会に送り出す使命をもつ
ています。三年課程ですが、はじ

めの一年間は教育課程を、二年目
は専門教科の講義と実習を、三年
目は都内の大学病院や一流大病院
の検査室において臨地実習を主体
とした現場教育を行っています。
本学は昭和二十七年にわが国で
最初に設立された臨床検査技師学
校です。卒業生の国家試験合格率
は常に全国のトップレベルにあり
ます。

本学の卒業生は各方面で技師長、
主任技師となつているものが多く、
その人柄のよさと旺盛な向学心に
より、本学の卒業生を採用したい
という病院や研究所が多く、求人
は卒業生の十倍に達しています。
また、

卒業生の
中から最
も難関と
されてい
る一級臨
床検査技
師試験の
合格者が
十五名、
各種の賞
を受賞し
た者が九
名、医学
博士の学
位を授与
された者
が五名あ
り、また
外国の病

学生募集要項			
修業年限	3カ年		
募集人員	70人(女子)		
入学資格	高卒(又は高卒以上の学歴を有すると認めた者)		
出願書類	入学願書、出身校の調査書、健康診断書、出身校長の推薦書(推薦入学志願者)入学選考料		
推薦入学			
願書受付	昭和61年11月6日より	試験日	合格発表
	12月2日まで必着	12月4日	12月6日
試験入学			
願書受付	昭和62年1月12日より	試験日	合格発表
	2月9日まで必着	2月13日 筆記試験	2月16日
		14日 面接	
試験科目	英語Ⅰ、化学Ⅰ、Ⅱ、おおよび物理Ⅰまたは生物Ⅰのうち1科目選択	計	3科目

福岡良男校長の講演



“のびのびと 学校生活を楽しむ”

中学校長 土居 孝輔
高等学校長

同窓会のみなさん、お元気にお過ごしでしょうか。母校への日頃のご協力に感謝いたします。お陰様で、少しずつ教育環境も改善され、生徒たちは明るく、のびのびと学校生活を楽しんでいます。

今年度は、中学校が十二クラス、高等学校が十四クラスの編成になりました。一人一人の生徒にライトをあて、受験中心の教育ではなく、3日精神に基礎をおいた人格教育の成果が認められた結果でしょう。

最近では、同窓生関係の入学者も増えております。やはり身内に認められ、支援していただくのが一番です。「安心して、子どもをあずけられる学校」としての評価を、ますます高めるよう努力していきますので、よろしくご支援ください。

中学 の現況

五日制の実施

中学校、高等学校の現況をお知らせしたいと思います。

五日制を実施しています。

自分のために自分で学ぶ習慣を身につけることにより、受身的な生活から積極的に行動する生活へをねらいとしています。

月曜日から金曜日までは、学校で普通の授業が行われますが、土曜日は、ねらいに従って「自学自習」の日となつて、学校では授業は行ないません。

学年毎にテーマがあります。

中一は予習・復習を習慣づけることです。中二・三年は予習・復習の習慣化の継続ですが、更に私の研究というテーマが行われています。これらは土曜ノートを通して担任と家庭との連絡がはかられて成果をあげています。

高一は「母親に学ぶ」がテーマです。土曜日は一日、母親がわりをしなが、母親から学んでいくということ。高二では教科色のある自学自習のテーマ「自主履修学習」です。

各教科よりのヒントを参考に、各自で年間学習テーマを決め、途中、教科の先生の指導助言を受けながら実行します。

高三は進路を中心にすすめています。

ます。

これら五日制の生活スタイルも

落ち着き、それぞれの成果をあげています。

人格形成を養う多様な行事

海外研修旅行

本校では、生徒のもっている能力を、数多くの機会を与えることによって、どれかの機会に発揮させたい。社会生活がうまくやれるようにさせたい。良いものを見たり聞いたりして、心豊かな人間に

したい。などなど、人格形成を多様な行事を通して導いていきたいと考え実行しています。より優れた生の芸術鑑賞による情操教育。今年の舞台鑑賞はチャイコフスキー記念東京バレエ団

による「眠れる森の美女」全幕でした。

夏は浅間高原寮へ

浅間高原寮を利用しての、中学校一・二年の夏期学校、高校のクラブ合宿も夏期に実施されます。年々、施設も整備され、恵まれた自然環境とあわせ、貴重な教育現場となっています。

カナダへ海外研修

高二が主体の希望参加行事「海外研修旅行」も、今年で十回を数えました。海外生活を体験し、国際的視野をひろめることを目的に、初代校長の新渡戸先生ゆかりの地カナダを約三週間、ホームステイを含めて実施しています。今年の参加者は高二学年の半数以上の98名でした。一まわり大きくなって帰って来たようでした。



▲海外研修旅行



◀外人講師による英会話教室を6月からはじめました。

秋を彩る

創作舞踊発表会や学園祭

9月26日に創作舞踊発表会が行われました。一学期から体育の授業で、クラス一丸となって、智慧を絞って作りあげる創作ダンスの発表です。ここでは創造力や協調性など人間関係の勉強が自然に行われるのです。

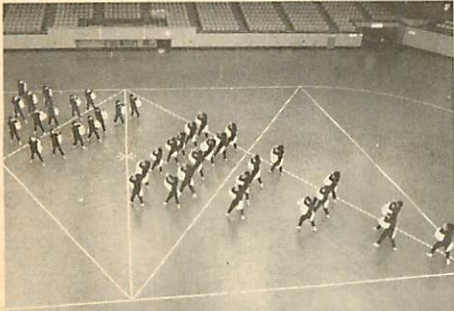
恒例の学園祭が、11月2・3日に行われますが、日常の教育活動の成果を発表する場としてとらえていますので、生徒の実行委員を中心に創意工夫の成果が発表されています。

暮の12月末にスキースクールが希望参加で実施されますが、年々中学生の希望者が増え、大きな行事の一つになっています。

正月には「かるた大会」が小体育室で開かれます。百人一首を通して古典に興味をもつ生徒も増え、これも年々盛んになってきた行事です。

生活指導もしっかりやっています。

社会の多様化のなか、いろいろな誘惑の声や手がのびてきますが、姿・形・立居振るまいを「清潔・端正・品位」を基本に指導し、「東京文化は私です」と生徒が自



秋の創作舞踊発表会



学園祭



春の球技大会
舞台鑑賞



―母親の声―

『母親に学ぶ』を共にして…

この程「母親に学ぶ」活動の現高一生全員の記録が、一年間の成果として4冊本に製本された。本校図書室書架に常設して今後に役立てたい。さて、母親からみた我が子の活動ぶりを一部紹介してみよう。なお、敬称は省きます。

○朝から全部家事を任せたとこ見え事にこなししてしまひびっくりするやら感心するやらです。こういった課題を与えてくれた事に感謝します。(大倉)

○毎週土曜日になると今日は私がすると進んでやってくれます。一年が速く感じます。二年、三年と家の方で続けるつもりです。(野田)

○手順も悪くいらいらすることもしばしばですが、やはり「慣れ」が一番だと思えます。活動で得た「自信」が将来大きな支えになって行くのでは。(藤牧)

○基本的なことをそつなくこなせるようになったのは土曜日の成果と思えます。親をしのぐこともありうれしいです。礼儀作法も身につかせたいと思います。(本間)

○はらはらすることもありますが私の仕事を全部してくれました。未来の立派な女性への基本を学ばせて下さり感謝します。(有馬久)

○特に何かを学びとろうとする娘の姿に感動しました。(須長)

○一年間で得たことは親子の信頼だと思えます。「母親に学ぶ」ことばを忘れずに。(川上雅)

○明日は母親に学ぶ日と前日から楽しそうに計画している娘はやはりたのもしく見えます。意識せず毎日がそうなる日を。(増田)

なお、活動成果は学園祭をこ期待下さい。

兄弟姉妹 のよつに

小学校長

機本正礼



東京文化小学校では、早い子はもう学校の始まる一時間以上前からどろん登校して来ます。

広い校庭で、朝のスポーツを楽しむためです。

スポーツの種類は、学校の行事や体育のカリキュラムにだいたい合わせて、野球、キックベースボール、サッカー、ドッジボールなど、季節によって変わります。男の子と女の子が混ざって遊ぶこともあるし、別々に遊ぶこともあり

ます。

六年生が打ったボールを三年生がキャッチしたり、四年生がシュートしたボールを五年生のゴールキーパーが真剣に防いだりして、上級生と下級生とが仲よくプレーをしています。こうして、一時間ほど、みんなで元気いっぱいスポーツを楽しむのが、私たちの学校の毎朝の風景です。

朝のスポーツの他にも、幾つかの学年が混ざってするものがたくさんあります。

例えば、毎日お昼休みには、一年生から六年生までの全校児童が縦割りの十七グループに分かれて教室、廊下、玄関などの掃除をするのですが、どのグループも六年生が班長になって、仲よく上下級生が助け合って仕事をします。

秋に行う全校遠足の時にも、この掃除当番のグループで行動をするので、ぶどう狩りの時には柵まで手が届かない一年生や二年生を六年生が抱き上げてやったり、栗拾いの時にはいがを割って実を出してやったりしています。もちろん、お弁当を食べる時も自由時間も、このグループで行動をするのです。

また、週三回の体育のうち一回は、一〜三年生、四〜六年生という具合に、三学年ずつ合同してダンスや球技をします。

夏休みには、三年生以下は浅間山麓、四年生以上は蓼科高原で合

宿生活をしますが、この時にも、男女別に三つの学年の子どもたちの混ざった縦割りの小グループを編成し、宿舎内の生活も、山登りやキャンプファイアをする時も、お風呂に入るのも、夜寝るのも、三学年混合の小グループです。

この他、春の球競技会、秋の運動会、水泳、もちつき、相撲大会など、数々の主要な学校行事の時に、幾つもの学年が協力し合って活動をしています。

このようにして、極めて自然のうち、上級生と下級生とが、それぞれの顔や名前はもとより、お互いの性質や特徴までよく知り合うようになります。

創立以来ずっと続いて来たこの兄弟姉妹のような心の結びつきをこれからも大切に育てて行きたいと思えます。

スキー教室

白銀に輝く大丸山

十二月と三月の下旬に、石打スキー場で毎年実施している小学校のスキー教室も、今年でもう始めてから二十二年になりました。その間に、雪が足りなくて中止した事が一回、大雪の為に列車が止まって中止になった事が一回あった

だけで、あとはずっと休まずに続けて来ました。

このスキー学校には、二年生以上の希望者が申し込めるので、毎回七・八十名の子どもたちが参加します。

十年ほど前から、初参加の二年生には五日間まったくスキーをかせせていません。ゲレンデの端の安全な所で、何メートルも尻滑りをしたり、雪をぶつけ合っ

て、五日間を過ごすのです。このように、足と体で雪の感触にしっかりと馴染ませると、次にスキーをはいた時、歩くのも滑るのもとても早く上達します。

こうして、三年生になる頃は、相当急な斜面でもどろん滑れるようになり、五・六年生まで続けたい子は、ちょっとした大人に負けないぐらい上手に楽しく滑れるようになります。

今年の三月は、あまりよい天候に恵まれなかったのですが、四日に漸く日本晴れになったので、みんなで勇んで大丸山山頂に登りました。そして、白銀に輝く周囲の山々の眺めを楽しみながら、おまんじゅうを食べ、ジュースで乾杯したのち、みんな並んできれいなシュプールを描きながら下まで滑って降りました。

冬の大自然の中で、楽しく心身を鍛える事のできるスキー教室をこれからも永く続けたいと思えます。



昭和六十二年度児童募集

募集人員 男女合わせて約四十名 (内部進学を含む)

入学説明会 10月7日(火) 午前9時40分

願書受付 10月17日〜11月13日

入学テスト 11月14日(金)

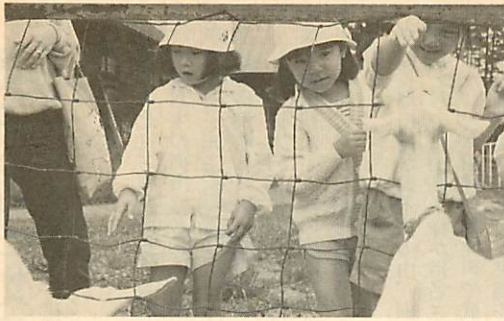
合格発表 11月15日(土)

★入学案内は小学校受付で配布中

ようちえん だより

暑い日の続いた夏の間に泳げるようになった子、補助なしの自転車に乗れるようになった子、一まわりも二まわりも大きくなった子ども達を迎えて二期のスタートを切りました。

七年前、三歳児の教育の大切さを痛感して始めた三年保育は、年毎に希望者を増し、軌道にのって充実した保育をすすめています。一学期には、まだ、どこかお乳の



山羊と遊ぶ浅間

匂いのするような子ども達でしたが、秋の訪れとともに、自分の足でしっかりと歩きはじめました。嬉しい成長の記録を、豆鞆先生のノートからご紹介しましょう。

みんなでのおままこと

朝の支度を早々とすませたYちゃんが先生のところにやってきました。「先生、今日はお天気だから屋上でおままごとをしてもいいでしょう?」「どうぞ」「やったあー」嬉しそうにゴザをかかえてさっそく屋上へー「わたしもいれて」次々とお友達も仲間入りしてききました。

お布団やおままごとのセット、テーブルなどなど、所帯道具も運び出して準備が整い、さあ始まりです。Yちゃんはとてもやさしいお母さん、子ども役の皆にあれこれと注意をしたり指示したりと大忙し、Mちゃんはおしゃまなお姉さん、赤い電話でいつもおしゃべりをたのしんでいます。Aちゃんは面倒見の良いお姉さん、Yちゃんは甘えん坊の赤ちゃん、Aちゃんがいつもお母さんのお手伝いをしてお世話をしています。Yくん

は体は小さいけれどやさしくして時にはたくましいお父さん、Aくんはやんちゃなお兄さん……。それぞれが自分の個性を出して思い思いの役になりきってたのしんでいます。時々先生もご招待をうけて皆の仲間入りをして積木の

ケーキやパズルのごちそうの相伴に預かりながら会話のやりとりを聞いていると、それぞれのおうちの様子が目につかぶ様と思わず笑ってしまふ事もしばしば。

一学期には自分のことで精いっぱいだった子ども達ですが、お友達にも目が向けられるようになってひとつの遊びを協力してたのしめるまでに成長してきています。

浅間高原宿泊保育

楽しいキャンプファイアー

この夏も、「大丈夫だよ。行っていらっしやい」と校医先生に診て頂いた年長児達は、翌日、特急白山一号で元気に軽井沢へ向かいました。

第一日目のオリエンテーリングでは毎年少しずつ変わる環境に先生達は多少戸惑ったりもりましたが、子ども達は誰も彼もはり切った夢中でカードを探し、田んぼの畦道を走り自然のおいしい空気を沢山吸い込みました。続いての虫取りは、ポツポツと降りだした雨のため場所を出来たての四十畳の

和室に移して遊ぶことに変更、「誕生月仲間」のダンスでは六月生まれのK君が素敵な踊りを披露し、「リリーダー捜し」のゲームでい一時を過ぎました。

二日目の牧場でのピクニックは青い空、高原の心地好い風に誘われて隅から隅まで歩き、お兄さん山羊からお爺さん山羊にまで出逢い、草を食べさせた雌山羊たちとは仲好しになりました。

期待して来た浅間高原での生活は、ちょうどタイミングよくお日様が顔を出してくれたお陰で三年振りにも赤赤と燃える薪を囲んでのキャンプファイヤーも楽しむことができました。二日目の夜が静かに更けて行ったのでした。

この二泊三日の生活は、子ども達の心の中に夏の思い出のひとつとして色々な宝ものを残してくれたことでしょう。

子どもの教育相談室

お気軽に相談を

子どもの自殺、家庭内暴力、登校拒否など、子どもの教育をめぐる諸問題が、新聞の社会面ににぎわしている昨今です。

東京文化幼稚園では、一人一人のお子さまの健やかな成長を願い、少しでもお母様方のよき相談相手になりたいと、子どもの問題では

第一人者の石井哲夫先生に御協力頂いて、「子どもの教育相談室」を開設してから五年目を迎えました。

石井哲夫先生は、日本社会事業大学の教授で、子どもの生活研究所の所長でいらっしやいます。

お子さまの発達が順調かどうか確かめたい方、知能テスト、心理テストの測定をご希望の方、どうぞお気軽に相談においで下さい。相談日は毎週水曜日、午前九時三十分から午後四時までで、お一人の所要時間は、約一時間三十分です。相談には子どもとの生活研究所の永山恵美子先生があたります。予約により時間を決められますので、幼稚園(電話三八一・一一八三)までお申し込み下さい。相談料は三千元です。

昭和六十二年度
園児募集
公開保育日 9月26日 (9・30・11・30)
入園説明会 10月8日 (2・30・3・30)
願書受付 11月1日のみ
入園児諸検査 受付順に実施
三才児男女15名
四才児男女30名
五才児 若干名
を募集します。幼稚園案内を配布中です(無料)
東京文化幼稚園

支部会各地で開催される!!

鹿児島支部

七月二十七日、鹿児島支部会が多数の同窓生の御出席と共に学園理事森本備子先生、白鳥雅子先生、同窓会総務大池も参加して開催されました。短大同窓生上原様の御関係の城山観光ホテルの広間にて色々とおもてなしを頂き有難うございました。

支部長堀川様が御不快の由、副支部長として永山高子様が指名されました。吉牟田様の御発声で武也先生の御冥福を祈念して黙禱を捧げ、備子先生の御挨拶、学校の様子、同窓会の様子の報告を伺いました。つづいて自己紹介に始まり、懐旧の念を新たにし、それぞれの御活躍の御様子を承り、心強く感じました。

最後に皆様方の御健康と母校の益々発展を祈りながら散会しました。吉牟田様、上原様には殊更御世話様になり、開催者一同深く感謝しております。

福岡支部

七月二十九日、我々の大先輩龍乙栄支部長、森田幸子先生の御盡力により、福岡支部会が小倉にて多数の方の御出席を頂き開催され鹿児島同様三人も参加いたしました。

た。その前に当小学校の教師である女流画家、森田愛子様(犀川愛子、森田先生のお嬢様、黒沢信男先生の秘蔵弟子日展にも入選された)の個展が小倉のデパート井筒屋で開催中でしたので、出席者全員でみせて頂き、その御活躍ぶりに感心させられました。

支部会は備子先生の御挨拶、白鳥先生の学校の近況報告、同窓会の様子等に始まり、一人一人の近況を拝聴して御活躍ぶりに又々感じさせられました。私は初めてこの様な会に出席したので感激ひとしおでした。お名残りはつきませんでしたが、時間の都合で御挨拶もそこそこに失礼いたしました。紙面を拝借して深くお礼を申し上げます。

帯広支部

帯広支部の支部長川上幸子様の御好意により、八月十八日、帯広支部会が急に開かれました。急にも拘わらず九人の御出席を頂き本当に御世話になりました。

学園の様子の報告、皆様近況をお聞きして母校の発展を祈りつつお別れいたしました。

短大 白鳥雅子

東京文化学園同窓会理事名簿

会長	井 井	スエノ	166	杉並区堀の内1-10-6	03-312-0428
副会長	く に	174	板橋区成4-21-3	03-930-6011	
"	青 木	純 子	176	練馬区中村3-5-16	03-999-4212
会計監査	桜 庭	法 子	143	太田区池上3-17-4	03-753-2735
"	赤 木	君 江	160	新宿区若葉町2-8-7	03-351-4666
専門部 幹事長	篠 原	初 江	187	小金井市花小金井2-755	0424-65-1997
副 幹事長	田 村	美知子	181	三鷹市下連雀4-17-14	0422-63-4900
高女部 副 幹事長	竹 谷	智 子	272	市川市東菅野1-3-23-403	0473-25-2733 勤務先 03-806-3180
短大部 幹事長	堀 堀	一 枝	166	杉並区阿佐谷南1-1-40	03-316-0833
副 幹事長	小宮山	寿々子	108	港区高輪4-12-15-209	03-441-2155
"	山 端	道 子	156	世田谷区羽根木2-1-10	03-321-8030
"	小 暮	明 子	165	中野区上鷺宮1-25-9 篠ハイツ1-201	03-926-9514
医技部 幹事長	中 谷	容 子	223	横浜市港北区綱島西6-21-19-302	045-545-1148
副 幹事長	小 栗	豊 子	112	文京区小石川5-11-15 小石川ビューパレス902	
高 校 部 幹事長	安 達	豊 代	164	中野区東中野3-4-8 桜山ハイツ101号	03-364-6029
副 幹事長	小 口	幸 子	177	練馬区関町南4-1-25	03-928-6737
"	三 雲	保 子	166	杉並区和田1-67-17	03-381-1049
"	横 尾	久 子	166	杉並区和田1-70-16	03-381-6030
"	藤 直	子 浩	184	小金井市緑町5-10-22	0423-81-1080
小学校	河 村	浩 太			
特別校内理事		(内線番号)			
	森 本	晴 生	(61)		
	長 岡	文	(227)	横浜市緑区桜台25-1 桜台ビレッジ48202	045-982-1153
	中 川	悦	(37)		
	黒 沢	教 子	(56)		
	白 鳥	雅 子	(34)		
	小 島	圭 子	(49)		
校内理事	鷺 見	美智子	(38)		
	石 田	由美子		東京文化学校給食室	03-381-1184
	小 川	みゆき	(30)		
	青 木	弥 生	(33)		
	佐 伯	かよ子	(25.66)		
	木 靖	子	(38)		
総 務	大 池	光 子	164	中野区本町6-41-1	03-381-4715

東京文化学園同窓会支部一覧表

北海道札幌支部	玉木美佐 060	札幌市中央南1条西5丁目	TEL 011-231-4017
帯広支部	川上幸子 080	帯広市依田町6	TEL 0155-23-2201
青森県支部	木村正枝 030	青森市浜田板橋23	TEL 0177-34-6426
秋田県支部	那須ノブ 010	秋田市保土野中町6-14	TEL 0188-62-2570
岩手県支部	山田泰子 020	盛岡市東緑ヶ丘17-12	
山形県支部	星信子 992	山形市蔵王飯田1413	0236-41-7547
宮城県支部	稲村きくえ 980	仙台市鶴ヶ谷5-20-19	
新潟県支部	目崎晶子 947	小千谷市2026	TEL 02588-2-1131
福島県支部	岡部ますみ 963-02	郡山市大槻町熊野木34	TEL 0294-51-1631
富山県支部	布村清子 930-11	富山市大町1区南部43-5	
長野県支部	山崎さち子 390	松本市浅間温泉189	TEL 0263-46-0882
茨城県支部	山田よし 319-15	北茨城市磯原町 磯原1215-3	
栃木県支部	戸部八重 320	宇都宮市西2-2-30	
群馬県支部	塚田幸子 371	前橋市日吉町2-6-11	
静岡県支部	島田良香 430	浜松市下池川町2-11	
岐阜県支部	林志づ 504	各務原市那加雲雀町37	TEL 0583-82-0770
愛知県支部	野田梅子 464	名古屋市千種区田代町4 観音堂西15-3	
副支部長	朽木美代子 465	名古屋市名東区猪高町大字高針字松井2-1	TEL 052-703-7716
鳥取県支部	田中正子 680	鳥取市馬場14	
兵庫県支部	増谷典子 658	神戸市東灘区御影町郡家大蔵23-3	
岡山県支部	後藤美枝 701-21	岡山市玉柏380-4	TEL 0862-28-1851
広島県支部	石橋勝子 729-64	広島市高田郡甲田町上甲立	
高知県支部	森美佐子 780	高知市高須新町4-8-3	TEL 0888-83-8227
愛媛県支部	鎌田徳子 791-11	松山市高岡町781-7	TEL 0899-73-6099
福岡県支部	竜久仁子 832	柳川市桃屋町48	
大分県支部	長田尚子 874	大分県南海郡蒲江町大字蒲江蒲3383	TEL 09724-2-0005
宮崎県支部	樋口ツ 885	都城市早水町5-8-1	
長崎県支部	久松つる江 856	大村市片町71	
熊本県支部	橋本静子 867	水俣市古城1-3-10	
鹿児島県支部	堀川ミヨ 890	鹿児島市天保山町13-15	TEL 092-55-3687
副支部長	永山高子 890	鹿児島市和田町883-6	TEL 092-6-6328
沖縄県支部	阿波根由子 904	沖縄市諸見里717-1	

収支計算及び予算

収入科目	昭和60年度		昭和61年度	支出科目	昭和60年度		昭和61年度
	予 算	決 算	予 算		予 算	決 算	予 算
1 会費収入	3,048,000	3,048,000	3,473,000	1 通信費	100,000	111,240	100,000
	小 5,000×27=	135,000	5,000×39=	195,000	2 印刷費	200,000	161,590
	高 5,000×189=	945,000	5,000×244=	1,220,000	3 会合費	350,000	342,920
	医 6,000×43=	258,000	6,000×65=	390,000	4 事務費	20,000	16,095
	短 6,000×285=	1,710,000	6,000×278=	1,668,000	5 会報会計へ繰出	1,300,000	1,300,000
		3,048,000		3,473,000	6 交際費	100,000	323,740
					7 支部費	130,000	68,400
2 受取利息	500,000	472,718	250,000	8 総会会計へ繰出	400,000	400,000	400,000
3 雑収入	0	0	0	9 部会活動費	300,000	300,000	300,000
4 年会費	1,200,000	1,467,000	1,300,000	10 入会記念品費	450,000	400,400	450,000
5 前年度より繰越	463,020	463,020	178,103	11 役員交通費	200,000	167,000	200,000
収入合計	5,211,020	5,450,738	5,201,103	12 人件費	560,000	560,000	560,000
60年度末残高	1. 本会費	定期預金,現金	13,724,782	13 名簿部へ繰出	900,000	900,000	1,000,000
	2. 事業部	定期預金,現金	11,096,889	14 積立金	200,000	200,000	200,000
		販売品	3,836,940	15 予備費	1,020	21,250	21,103
	3. 名簿部	定期預金,現金	1,178,247	小 計	5,211,020	5,272,635	5,201,103
	4. 会報発行部	定期預金,現金	290,902	次年度繰越	0	178,103	0
	5. 建設準備金	定期預金,現金	8,768,976	合 計	5,211,020	5,450,738	5,201,103

理事会・幹事会のごき

昭和六十年年度

第四回理事会

九月二十七日(金) 学園会議室にて

一、「泉」第二十四号について (昭和六十年十月発行)

二、学園について

三、同窓会館について

第五回理事会

十二月三日(火) 銀座「日航ホテル」にて

一、同窓会入会式について

二、学園祭売店報告・反省 (別項を参照)

三、第三回海外旅行について

四、観劇会について

五、同窓会館について

六、事業部取扱商品について

第六回理事会

一月七日(金) 学園会議室にて

一、第一回幹事会について

二、予算・決算について

三、同窓会費について

四、昭和六十一年度行事計画について

三、故・森本武也学園長の追悼礼拝について

四、第三回海外旅行「オーストラリアの旅」報告

五、観劇会について

リブラ会

五月十四日(水) 学園会議室にて

一、第一回幹事会の反省

二、各部の職務分担について

三、観劇会の中間報告

四、各部の今年度予定について

五、第四回海外旅行について (別項を参照)

六、観劇会(六月七日)について

第二回理事会

七月三日(木) 「同窓会館」にて

一、学園祭について

二、各部の計画について

三、観劇会の報告・反省

リブラ会総会開かれる

梅雨も終りに近い七月十三日学園視聴覚教室において、リブラ会(医技同窓会)総会が開催された。あいにくお盆と重なったため出席者数が例年よりやや少なかったが、一期より三十四期まで約五十名が賑やかに集まった。

総会には小栗幹事長の挨拶、事業報告に始まり、今回の医技教室移転についての説明も加えられた。医技校舎はこの度桃園寮のあとに新築が始まっており、六十二年三月には完成し移転をすることになり、そこには新しく専門学校ビジネスアカデミーが併設されること

となった。

次に役員改選について審議が行われ、万場一致にて次期役員が次の通り選出された。

- 幹事長 小栗豊子(11期)
- 副幹事長 北川輝子(7期)
- 副幹事長 大竹順子(11期)
- 会計 宮内美子(2期)

そのあと係より、名簿整備のため、氏名、住所に変更があった時には必ず知らせて頂きたい。また、卒業後十年以上経っている方は年会費(千円)の納入に協力して頂きたい旨の話があった。

引き続き第二部の講演に移り、まず小栗豊子姉により「細菌と私」と題し医学博士を授与されるに至る経緯と研究についての話があった。短時間ではあったが一同大いに啓蒙された。

次に福岡校長により御専門のエイズについての最新情報を貴重なスライドを用いて講演があった。短い時間に豊富な内容を聞くことが出来、よい勉強となった。

このあとカフェテリアに席を移し立食パーティとなった。幹事長の挨拶に続き学校の発展とリブラ会の繁栄を祝して乾杯が行われ、一同なごやかに話に華を咲かせた。この総会は隔年に開かれるものであり、次は六十三年に開催される予定であるから、次回には更に多数の方が参加され、日交をあたため情報交換される様願ってやまない。

学園祭の売店報告

昨年十一月二日と三日の学園祭では、例年のように同窓会の売店を出しました。皆様のご協力で二色弁当、サンドイッチ、ポップコーン、パンティストッキング等が販売し、三八九、七七八円の収益がありました。

このほかに、同窓会特製の校章入りのコーヒーカーップ七十八脚とスプーン三十七本も販売いたしました。

なお、このコーヒーカーップ(一脚六百元)とスプーン(一本七百元)はいつでも販売しておりますので、ご希望の方は同窓会事業部(電話〇三―三八一―〇一九六・代表)にご連絡ください。

第四回海外旅行

ヨーロッパへの旅

昭和六十二年の夏に第四回海外旅行として「ヨーロッパへの旅」を計画中です。訪問国は、(A案) スイス、イタリー等、又は(B案) オランダ等です。六泊九日の日程で、費用は二十人以上の参加で五十八万六千円程度の予定です。

詳細は未定ですが、来年春には決定します。御希望の方は同窓会本部(電話〇三―三八一―〇一九六・代表)にお問い合わせください。

年会費をお忘れなく

卒業後十年以上の方々に、年会費として千円の納入をお願いしておりますが、毎年千三百人余の方々にご協力をいただき、有難うございます。

会員は年々六百人以上ずつ増加し、通信連絡等のコストも上ってきております。一人でも多くの方のご協力をお願いいたします。

なお、今回は昭和五十年三月までに卒業された方々に年会費の振替用紙を同封しました。(昭和五十一年三月以降の卒業の方には振替用紙を同封いたしません。)

住所変更のときは

お陰様で名簿も不明者が序々に減り大変嬉しく存じます。折角「泉」等をお送りしても転居先不明で返送されてきますと大変残念です。お手数でも転居の際、ご連絡をお願いいたします。(名簿部)

編集後記

今年は昨年より発行を少し早めたところ、学内の建築の増加や行事の変更により、編集が追い付かなくなりました。いつものことながら、来手に期待を入めています。(H)